

課程紹介

全日制

毎日5～6時間、週5日であることが多いです。8時30分頃から16時頃までの活動が主です。修業年限は、原則3年となります。

定時制

県内の定時制には、昼間部・夜間部や、I部・II部・III部のように学校によって設定が異なるため、登校・下校時間は学校により異なります。修業年限は、原則4年。ただし、3年で卒業できる場合もあります。

通信制

自宅での自主学習を基本とし、年数回のスクーリング（登校）とレポート提出を必要とします。毎日、登校することはありません。修業年限は原則4年。ただし、3年で卒業できる場合もあります。県立高校は、1校のみです。

学科紹介

普通科（コース含む）

中学校等で学習したことを基礎に、国語、数学、地理歴史、公民、理科（物理・化学・生物・地学）、外国語（英語）を中心に学ぶ割合が他の学科に比べると多くなります。

その他の専門学科

該当学科の専門教科を学ぶ割合が多くなります。それぞれの学科に関する専門的な知識・技術を身につけます。このリーフレットの1ページ目に具体的な学科を紹介しています。

総合学科

幅広い選択科目の中から自分で科目を選択し、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視します。また、将来の職業選択を視野に入れた自己の進路希望に基づいて、科目を選択します。

専門学科の例

農業に関する学科

農業（作物・野菜・草花・畜産・食品・バイオ・造園等）についての専門技術や知識を習得し、地域や社会の健全で持続的な発展を担う人材を育成します。

工業に関する学科

「ものづくり」産業を支えるため、地域の産業を担う技術者として、必要とされる知識・技術を習得し、自ら課題発見・解決できるような人材を育成します。

商業に関する学科

ICT、マーケティング、経営マネジメント、会計を学び、ビジネスの様々な場面で役に立つ知識、技術を身につけ、経済社会の発展を担う人材を育成します。

家庭に関する学科

家庭に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育成します。

外国語に関する学科

専門教科の「英語」や第2外国語の科目を多く設定し、生きた語学力を身につけるとともに異文化理解を深め、将来、国際社会で活躍する能力を育成します。

理数に関する学科

専門教科の「教科理数」という専門性が高い理数科目（数学及び理科）を中心とした授業を展開し、科学的・数学的に考える力や探究する態度を養います。

令和7年度県立高校入試

Q&A

Q 受検までの流れを教えてください。

A 1月27日（月）から2月10日（月）までの間にインターネットを活用して出願を行います。その後、2月13日（木）、14日（金）、17日（月）で出願書類の提出を行います。入学者選考手数料は電子収納により納付することになります。

Q 必要な提出書類は何ですか？

A 中学校長が作成した調査書が必要です。県外中学校から出願する方や特別選抜などを希望する方は、必要な書類が他にもあります。

Q 過去問題を見ることはできますか？

A 学力検査の過去問題と採点の手引きは埼玉県立総合教育センターのホームページで公開しています。
埼玉県立総合教育センター 入試情報
<https://www.center.spec.ed.jp/nyuushi>

Q 定時制の入試について教えてください。

A 全日制と同じ日程で行います。内容も同じです。

【問い合わせ先】

埼玉県立総合教育センター「入試相談窓口」

- ◆電話：048-556-2439（相談窓口直通）
- ◆メール：p7412216@pref.saitama.lg.jp
- ◆相談時間：月曜～金曜 午前9時～午後5時
（国民の祝日・年末年始はお休みです。）

【お知らせ】

令和7年度入学者選抜の各高等学校の選抜基準は、7月中旬に県教育委員会のホームページに掲載します。



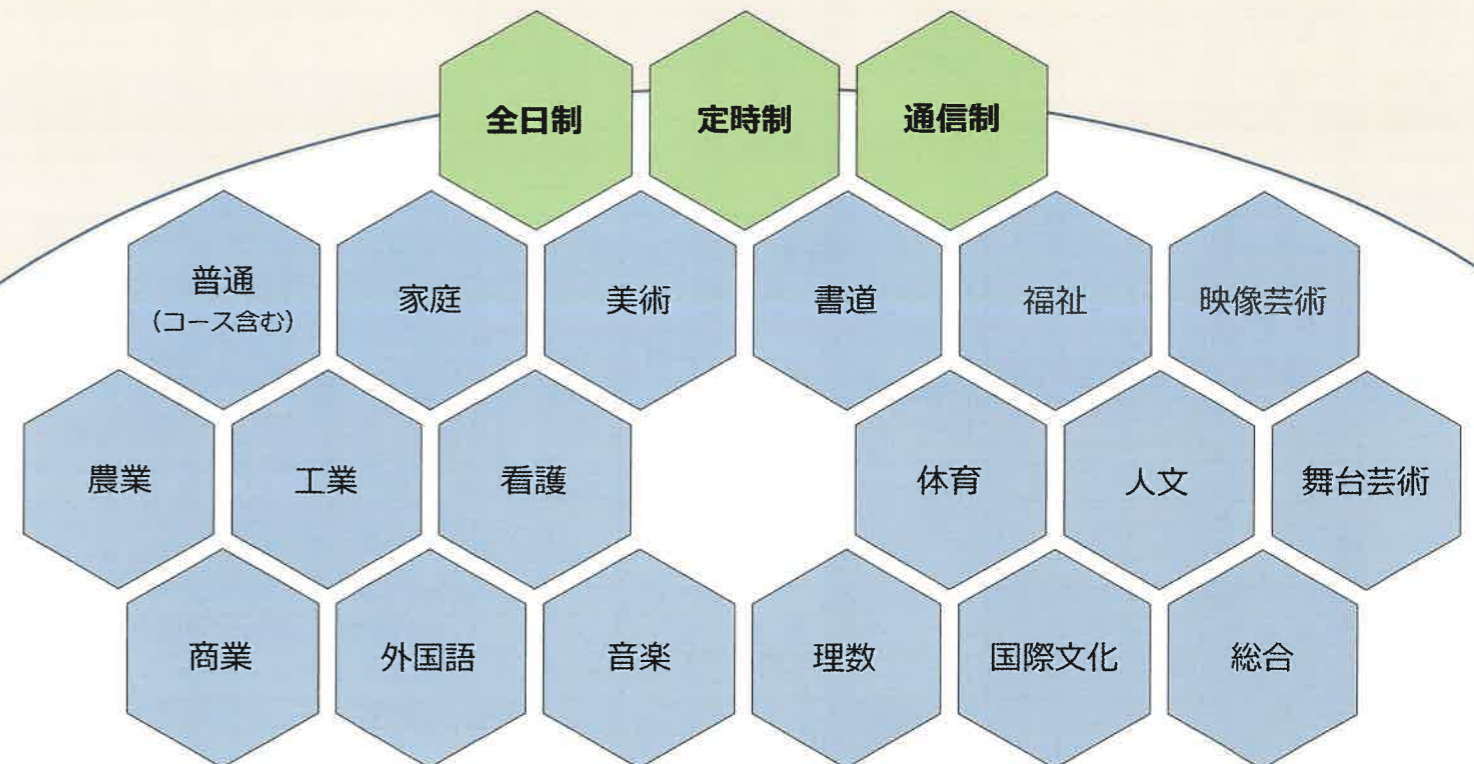
埼玉県公立高等学校に 入学を希望するみなさんへ

令和7年度

埼玉県公立高等学校入学者選抜案内

県内、県立高校131校、市立高校5校が入学者選抜を予定しています。

全日制・定時制・通信制の3つの課程と、普通科をはじめ18の学科があります。



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっちゃん

埼玉県教育委員会や埼玉県立総合教育センターのホームページにおいて、最新の情報を確認できます。

埼玉県教育委員会 埼玉県公立高等学校入学者選抜情報

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2208/nyuushi.html>

総合教育センター 入試情報

<https://www.center.spec.ed.jp/nyuushi>

